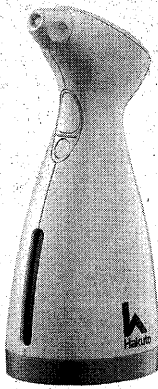


生一水プレ ンズ オ成

伯東、拡販を推進

除菌・消臭に
工場向けなど幅広く

電子部品、半導体製造装置などを販売する伯東（本社：東京都新宿区、阿部良二社長）は



小型、軽量で手軽に使える

「aquaray（アクレイ）」の販売を進めている。水だけで簡単にオ

ゾン水を生成可能で、従来の大型のオゾン水生成機器と比べ約540gと軽量で小型なため手軽に利用できる。除菌・消臭用途として医療・介護施設、企業、工場などの施設に向け広く展開している。アクレイは導電性ダイヤモンド電極で純水を電気分解しオゾン水

を生成する。自社開発の国産電極モジュールをはじめ電池セル、ポンプ、主要回路部品は日本製を採用し、安定してオゾン水を生成。オゾン水濃度は水温25℃で2〜3g/L、水温5℃で最大7g/Lと業界最高水準を誇る。同社はウイルス、菌、酵母、カビに対す

るオゾン水の効果を試験で確認し、新型コロナウイルスと同グループのネココロナウイルスやアルコールでは不活性化が難しいノンエソベロープウイルスに

対しても高い不活性効果を確認している。またオゾン水は対象物と反応すると消費され水に戻る特性のため、オゾン残留がなく安全性が高い。無刺激性で手荒れなどを起こしにくく、肌によさしく除菌できる。これまでオゾン水濃度を高く保つため、使用する水を「アクレイ専用高純度精製水」のみとしてきたが、市販の精製水、水道水、ペットボトル飲料水などにも対応する。水道水などを使用した場合、オゾン水濃度の低下はあるものの十分な除菌効果が得られることを確認。使用環境やニーズに合わせ使用する水を選択できる仕様とした。伯東は電子デバイス事業の他、ケミカル部門ではプラント向けに工程処理剤などの製造・販売、工事部門では配管洗浄工事なども手掛けている。大阪市住之江区のインテックス大阪で本日まで開催の「第1回感染対策EXPO大阪」に出展しアクレイを展示する。